

「三重のサステナブル経営アワード」表彰企業紹介

三重のサステナブル経営アワード表彰企業 令和4年度

事業者名	所在地	業種
エイベックス株式会社	桑名市	輸送用機械器具製造業
株式会社オオコーチ	松阪市	製造業
河村産業株式会社	四日市市	電子電気部品製造業
株式会社北村組	松阪市	総合建設業
株式会社フジ技研	いなべ市	輸送用機械器具製造業
株式会社宝輪	鈴鹿市	運送業
特定非営利活動法人 三重県生涯スポーツ協会	津市	教育、学習支援業
三重軌電株式会社	鈴鹿市	運送業、倉庫業

令和5年度

事業者名	所在地	業種
伊勢志摩リゾート マネジメント株式会社	志摩市	ホテル・旅館業
株式会社久志本組	四日市市	建設業
光精工株式会社	桑名市	自動車部品製造業
株式会社山下組	志摩市	建設業
和光紙器株式会社	鈴鹿市	包装資材製造業

サステナブル経営



三重のサステナブル経営アワード

◆ シンボルマークのコンセプト
アワードの4つの取組（環境への配慮・脱炭素、次世代育成の推進、地域社会への貢献、従業員満足度の向上）をイメージした4つの山が、組み合わせられてひとつになる過程をサステナブルの頭文字である「S」の形で表現しています。

① 環境への配慮・脱炭素

③ 地域社会への貢献

ワード審査委員会が書類審査（1次、取り組みや今後の見通しなど）について経営にヒアリングする経営者プレゼンテーション審査（2次）、現地訪問（3次）を通じ、12月19日に表彰企業を決定、来年2月中旬に表彰式を開く予定。

なお、24年度は33社からの応募があった。今年2月に行われた24年度の表彰式では、一見勝之知事が表彰状と記念品（木製植）を表彰企業6社に贈呈した。

これまでサステナブル経営で表彰を受けたのは、初年度の22年度が8社、23年度が5社だった。

企画・制作 中部経済新聞社 三重支社

多様な人材と価値観の尊重

光機械製作所

工作機械などを製造する光機械製作所（本社津市一身田中野8の1、西岡慶子社長）は、「人材は宝」という考えの下、ジェンダー（性別）、ジェネレーション（年齢）、グローバル（国籍）の三つの「G」にとらわれない人材方針を掲げている。100人いる従業員のうち女性が約2割を占め、開発・設計部門では3割を女性が占める。製造部門では最も大きなグループの長を女性が務める。また、全

従業員の約1割は外国人従業員が活躍。宗教観を尊重し、事業所の一角に礼拝所を設けている。環境面での取り組みで特長的なものは、顧客が使用する既存の研削盤などを改修して性能を高める「レトロフィット」というビジネスだ。工作機械に搭載されているCPU（中央演算処理装置）をより性能の高いものに更新したり、新たにセンサーを付加したり機械の電装部品を最新型に取り替えて加工の精



性別、年齢、国籍にとらわれない人材方針を掲げている

度、スピード、省エネ性などを高める。オペレーターが慣れ親しんだ工作機械を生かすことで、新規に設備導入するよりも費用を抑えつつ生産性向上に寄与する。

126種類の福利厚生

四日市事務機センター

事務機器の販売や保守管理を手掛ける四日市事務機センター（本社四日市市日永西2の18の7、佐野智成社長）は、126種類の福利厚生制度を運用している。多様な福利厚生が、従業員満足度と顧客満足度のアップに加え、収益拡大の原動力となっている。

福利厚生の例として、社員の家族向け支援だ。子どもの塾費用一部負担や小学校入学時のランドセル贈呈、中学入学時に制服を贈るといった制度があり、

子育て世代の支援が手厚い。また社内向け支援では、社員同士が日常業務の感謝の気持ちを仮想通貨とともに伝え合い給与に反映させるユニークな制度を運用。売り上げなどの数字には表れない「見えない努力」をたたえることで、社員の働くモチベーションアップにつなげている。佐野社長は、顧客に対して最高のサービスを提供するために、良好なチームワークが最も大切だと考えている。多様な福利厚生が従業員の思いやり、助



多様な福利厚生が良好なチームワークづくりに貢献している

け合い、感謝の精神を育み良好なチームワークを醸成。結果、顧客満足度と会社業績の向上に大きく寄与している。同社の売上高はこの15年余りで4倍へ成長し、離職率も大幅に低下した。

未来を笑顔に

YONJIMグループは地域の発展に貢献します！

IGA/NABARI NETWORK TOP ASSIST ネットワークトップアシスト株式会社

YOKKAICHI YONJIM 株式会社四日市事務機センター

TSU/MATSUSAKA CLOUD E 株式会社クラウドエム

TSU advision 株式会社アドビジョン

事務機のプロ集団。Tel.059-346-5411

〒510-0891 四日市市日永西2丁目18番地7号 <https://www.yj-c.co.jp/> 四日市事務機センター 検索

小水力発電所を運営

マツザキ

総合建設業のマツザキ（本社伊賀市下阿波2697の1、松崎将司<まさし>社長）は、環境に優しい経営に力を入れている。自社の小水力発電所や太陽光発電所を通じて発電した再エネ電力は、自家消費や売電を行う。昨年には、温室効果ガス排出削減を目指す国際認証「SBT」の中小企業版を三重県内の建設業で初めて取得した。二酸化炭素排出量の削減目標は「2030年までに20年比42%減」を掲げる。

2019年に稼働を始めた「馬野川（ぼのがわ）小水力発電所」（伊賀市）。標高約460mの取水口から発電所に水を流し込み、水車を回すことで電気を作る。運転は子会社の「みえ里山エネルギー」（本社伊賀市）が担う。小水力発電と、本社近隣にある太陽光発電で発電した電力量は、年間一般家庭約380世帯分に相当。再エネ電力は本社事務所で自家消費するほか、地域の一般家庭や企業などで使われ



管を通じて水が急斜面を流れ水車を回す馬野川小水力発電所の「導水管」

ている。今後は車両の電動化やJークレジット購入などによる施策を通じた二酸化炭素削減の目標達成に向けて変革と挑戦を続ける。

時代に先駆けたチャレンジ
画期的な事業を展開
地域に信頼される企業へ

We Construct Human and Community

株式会社マツザキ

MATSUZAKI

〒518-1416
三重県伊賀市下阿波2697番地の1 TEL:0595-48-0221

SDGs

Science Based Targets

Workshop

Workshop

モノづくりをもっと楽しく、スマートに。
HIKARIの“なるほど！”を世界に。

社員一人ひとりがプロとして挑戦し続け、その成果がユーザーからの「なるほど！」という共感につながる。

私たちは、そうした挑戦が自然に生まれる環境を大切に、持続可能なモノづくりを通じて、未来につながる価値を創出していきます。

工作機械のオーダーメイド製作 | 切削工具の総合メーカー | レーザー加工機のトータルソリューション |

株式会社 HIKARI 光機械製作所

〒514-0112 三重県津市一身田中野8-1 TEL 059-227-5511